

平成24年10月
市川市定例教育委員会会議録

市川市教育委員会

平成24年10月定例教育委員会会議録

- 1 日 時 平成24年10月11日(木) 午後3時00分開議
- 2 場 所 理事者控室
- 3 日 程
 - 1 開会
 - 2 会期の決定
 - 3 議事日程の決定
 - 4 会議録署名委員の指名
 - 5 議案第21号 平成24年度市川市教育功労者の決定について
議案第22号 市川市スポーツ推進審議会委員の委嘱に関する意見聴取
について
 - 6 その他
 - 7 閉 会
- 4 本日の会議に付した事件
 - 1 議案第21号 平成24年度市川市教育功労者の決定について
議案第22号 市川市スポーツ推進審議会委員の委嘱に関する意見聴取
について
 - 2 その他(1)平成24年9月市議会定例会について
(2)平成24年度市川市子ども作品展・新聞展について
(3)第67回市川市児童生徒音楽会について
(4)平成24年度合同学習発表会について
(5)平成24年度市川市還暦式について
(6)平成24年度成人式について
- 5 出席委員 宇田川 進
五十嵐 芙美子
中村 ふじ江
内田 茂男
田中 庸恵
- 6 欠席委員 吉岡 博之
- 7 出席職員、職・氏名

教育次長	下川	幸次	教育総務部長	津吹	一法
学校教育部長	藤間	博之	保健スポーツ部長	吉光	孝一
教育総務部次長	高坂	哲	生涯学習部次長	千葉	貴一
教育政策課長	大野	英也	人事福利担当室長	竹中	秀成
就学支援課長	伊藤	三郎	教育施設課長	金子	登志夫
義務教育課長	赤石	欣弥	教育センター所長	山元	幸恵
生涯学習振興課長	丸山	賢治	地域教育課長	鈴木	栄司
青少年育成課長	安部	幸弘	公民館センター長	秋本	賢一
中央図書館長	松本	雅貴	考古博物館副参事	齋藤	忠昭
自然博物館長	宮田	明吉	スポーツ課長	平田	勝義

7 事務局職員、職・氏名

教育政策課	主 幹	水越	英明
〃	主 幹	福田	修
〃	副主幹	近藤	孝子
〃	副主幹	宮内由美子	
〃	副主幹	岡田	靖弘
〃	副主幹	関原	一久

○ 宇田川委員長

ただいまから、平成24年10月定例教育委員会を開会いたします。本日の会議は、委員の過半数が出席しておりますので地方教育行政の組織及び運営に関する法律第13条第2項の規定により成立いたしました。この定例会の会期は、市川市教育委員会会議規則第3条第2項の規定により、本日1日といたします。それでは、お配りした日程に従い議事を進めます。会議録署名委員の指名を行います。会議規則第39条の規定により、会議録署名委員は委員長、五十嵐委員、中村委員を指名いたします。続きまして、議案に入ります。議案第21号 平成24年度市川市教育功労者の決定についてを議題といたします。提案理由の説明を求めます。

○ 教育政策課長

資料は1ページから15ページでございます。1ページをお願いいたします。本案は、教育委員会事務局内部の表彰候補者選考委員会において審査の結果、平成24年度の教育功労者の表彰候補者が決定いたしましたことから、市川市教育功労者表彰規程第7条の規定により、本日、教育委員会にお諮りし、表彰者として決定をいただくものでございます。2ページをごらんください。こちらは表彰候補者の一覧でございます。候補者の内訳は、教職員8名、学校医関係3名、社会教育関係2名の計13名でございます。候補者の功績の詳細は3ページ以降に資料を添付させていただいておりますが、ここで簡単にご説明をさせていただきます。最初に、3ページをお願いいたします。伊藤恵津子様は、長年にわたり本市の数学科教育及び学校経営の充実に努めるとともに、教育委員会教育次長時代は本市教育行政の中枢を担われ、その後、大洲中校長として県内唯一の中学校夜間学級の充実・発展に寄与されました。次に、4ページをお願いいたします。山崎 繁様でございます。実践的な道德教育の研究と推進に努め、すぐれた成果を残されました。また、教育委員会事務局在任中は課長、次長、部長を歴任し、学校教育行政の中核を担ってこられました。続きまして、5ページの菅澤龍之助様でございます。生徒に寄り添う教育を実践するとともに、生徒指導、授業技術の向上と充実に努め、創造性豊かな教育活動にも尽力し、着任する中学校の部活動を全国大会で活躍させるなどの実績を残されました。続きまして、6ページでございます。勝又達彦様でございます。心身ともに健全な児童の育成に取り組み、生徒指導、体育指導面で実績を上げられ、市教委、県教委時代におきまして体育指導主事として力量を発揮し、本市学校体育の振興に尽力されました。続いて、7ページの八重樫 茂様でございます。算数教育の推進と充実に尽力される一方、造形教育の研究に取り組むとともに、須和田の丘支援学校稲越校舎の移転及び交流教育の実現と推進に尽力されました。次に、8ページをお願いいたします。西 清見様でございます。学校事務職員として、誠実、確実に事務を執行し、円滑な校務処理に手腕を発揮され、一方で後輩の育成

にも力を注ぐとともに、県に先駆け本市の学校事務の共同実施の実現に寄与されました。9ページの大谷朋子様でございます。算数教育の推進の要として、常に研鑽と実践を重ね、その成果を還元し、教員の授業力向上に寄与されたものでございます。続きまして、10ページでございます。鈴木ふさ江様でございます。早くから職業体験活動に取り組み、本市のキャリア教育の普及発展に尽くされる一方、総合的な学習の時間では「プロジェクト・ベース型総合的な学習の時間」の実践に取り組み、若年層の育成にも尽力されました。次に、11ページの坂井隆之様でございます。長年にわたり学校医として健康診断、保健指導に尽力され、今日の市川市学校保健の礎を築かれ、本市の健康教育の推進に寄与されたものでございます。12ページをお願いいたします。川野眞司様でございます。長年にわたり本市学校歯科医として歯科健康診断・相談及び虫歯予防対策に努め、本市の歯科保健指導と健康増進に尽力されてこられました。13ページ、恩田英夫様でございます。長年にわたり本市学校薬剤師として学校の衛生状況の調査、水質検査、教室内の照度検査、空気検査など学校保健の推進に尽力されてこられました。次に、14ページでございます。齋藤 匠様でございます。長年にわたりましてPTA会長としてPTA活動の活性化に尽力され、また、平成21年からは3年間、PTA連絡協議会会長を務められました。PTAの全国大会や本市P連60周年記念式典において重責を果たされ、社会教育の発展と振興に寄与されたものでございます。最後に15ページ、第八中ブロック学校教育支援コーディネーターズでございます。学校からの要望に応じて地域の方たちによるさまざまな学校教育支援活動を行い、質の高い授業の実施及び児童生徒の学力向上に寄与されたものでございます。以上でございます。なお、本年度の教育功労者表彰式につきましては、11月15日木曜日、午後2時から生涯学習センターにおきまして市長、議長、校長会会長にもご出席いただき開催する予定でございます。教育委員の皆様にも主催者としてご臨席賜りますようお願い申し上げます。説明は以上でございますが、個々の候補者に関するご質問につきましては、推薦課長よりお答えをさせていただきます。よろしくご審議のほどお願い申し上げます。以上です。

○ 宇田川委員長

以上で説明は終わりましたが、質疑はございませんか。この角谷さんという最後の方は教育振興会議の方ですよね。

○ 教育政策課長

昔、教育振興会議の委員さんをお願いしておりました。

○ 宇田川委員長

わかりました。

○ 五十嵐委員

残念ながらこの候補者名簿に上がらなかった人も何人かいらっしゃるので

すか。

○ 教育政策課長

各課に表彰対象者を推薦していただくように依頼いたしまして、ご推薦いただいた方については、今回すべて表彰候補者として挙げさせていただいたところでございます。

○ 宇田川委員長

他に質疑がないようですので、議案第21号を採決いたします。ご異議はございませんか。

○ 他の委員

異議なし。

○ 宇田川委員長

異議なしと認めます。本案は原案のとおり可決いたしました。次に議案第22号 市川市スポーツ推進審議会委員の委嘱に関する意見聴取についてを議題といたします。提案理由の説明を求めます。

○ スポーツ課長

本審議会の委員につきましては、平成24年10月31日をもって任期満了となります。このことから、市長が新たに委員を委嘱することに関しましてご意見を伺うものでございます。別冊の3ページをお願いいたします。このたびの選任のポイントといたしましては、来年、平成25年度に市川市スポーツ振興基本計画の中間評価並びに第3次事業計画を作成いたしますことから、現委員の継続を基本として、在任期間が長い委員及び所属大学の退職による退任によりまして、新たに2名の委員を選任させていただくものでございます。説明は以上でございます。よろしくお願い申し上げます。

○ 宇田川委員長

以上で説明は終わりましたが、質疑はございませんか。質疑がないようですので、本案について教育委員会としては、異議なしとしてよろしいでしょうか。

○ 他の委員

異議なし。

○ 宇田川委員長

それでは、本案に対する教育委員会の意見は異議なしと決定いたします。続きまして、その他に入ります。(1)平成24年9月市議会定例会についてを説明してください。

○ 教育次長

資料は16ページから27ページになっております。9月議会は、資料にございますとおり会期が平成24年9月7日金曜日から10月5日金曜日まででございました。会期中に平成23年度の決算特別委員会を含んでいたため、長期間になったものでございます。2番目の教育委員会が答弁した質疑内容です

けれども、補正予算に関する質疑が2件ありまして、内容的には、守屋議員の通学路に関する質疑、金子貞作議員の学力・学習状況調査に関する質疑でございます。通学路につきましては、安全点検が終了したこと、既に実施した項目や今後実施する予定のものといった対応策についての答弁をしております。また、学力・学習状況調査につきましては、小学校5年生の国語、算数、中学校2年生の数学が全国平均を上回ったこと、中学校2年生の国語につきましては若干下回っておりますが、前回よりは大きく改善していることを答弁しております。続きまして、教育委員会が答弁した一般質問でございますが、一般質問の質問者は全部で17名、大きく分けた質問項目では23件となっております。主なもののみ資料を多少補足しながらご説明したいと思います。質問の主なものは、いじめ問題が4件、放射能関係が2件、耐震改修関係が2件、大野公民館エレベーターの関係が2件、学力・学習状況調査が1件、その他が12件となっております。例えば武道、ダンスであるとか環境教育であるとか道徳教育、そういったもろもろのご質問をいただいております。それでは、何点かご説明をしますが、まず最初に、いじめ問題についてのご説明をいたします。これは、先ほど申し上げましたように4件、4人の方からご質問いただいております。1番の寒川議員、5番の堀越議員、17番の湯浅議員、26番のかつまた議員でございます。昨今、新聞等報道が多くありますので、そういった点から質問が多くなったと思われれます。質問の内容は、本市でのいじめの状況やいじめ撲滅に向けての学校及び教育委員会の対応、それからいじめ防止条例の制定についてといったものが主なものです。答弁ですけれども、平成23年度の文部科学省調査では、全国の小・中・高・特別支援学校のいじめの認知件数は約7万件という報道がされておりました。千葉県はそのうち約7,300件でございます。一方、本市ですけれども、平成22年度、小学校が285件、中学校が194件、それから平成23年度は小学校198件、中学校189件でしたけれども、平成24年度は現時点までで小学校385件、中学校202件とちょっとふえております。ただ、これは各学校で、よりきめ細かくアンケート調査を実施した結果であると考えているといった答弁をしております。対応としましては、昨年度より教育委員会内に専門部署であります事故対策班を設け、学校だけでは解決できないようなトラブルに対応していること、また、学校での具体的な取り組みとしましては、現状把握に基づいて指導の方向性を全職員で再確認すること、あるいは職員会議や研修会における事例に基づいての検討などを行っているといったことを答弁しております。また、いじめの防止条例につきましては、岐阜県可児市と兵庫県小野市で作成されております。可児市は子どもを対象にした条例で、小野市は職場、大人も含めた条例という内容になってはいますが、答弁の中では、いじめ問題は大人社会にも見られることから、関連部署との連携を図りながら、子どもだけではなく対象を広げることも含め研究を進め

るといった答弁をしております。次に、放射能関係で2件、17番の湯浅議員と26番のかつまた議員からありました。質問の内容は、通学路の放射線量の問題、給食関係の食品の測定が主な質問内容でした。これにつきましては、教育委員会のほかに危機管理室からも答弁をしております、危機管理室からは、国の文部科学省で道路走行サーベイを実施しているのですけれども、これは第1次が23年6月、第2次が23年12月ですけれども、だんだん対象をふやしてきていまして、第3次が24年3月に行われまして、これは市町村が希望する道路も含めて実施されたということです。本市におきましては、おおむね毎時0.2マイクロシーベルト以下でございました。平成24年度の道路走行サーベイは、さらに測定する道路をふやして2回ぐらい実施する予定であると聞いているといった答弁がありました。教育委員会の学校教育部から、通学路の放射線量については、今後の走行サーベイの結果によって関係部署と連携し対応する。また、学校給食の安全性については現在実施している提供給食のミキシング検査及び給食食材のモニタリング検査を引き続き行うといった答弁をしております。次に耐震改修ですが、これもお2人の方からご質問をいただいております。9番の西村議員と14番の桜井議員ですけれども、市では建物の公共施設の耐震改修を市有建築物耐震化整備プログラムに基づいて進捗を図っているのですが、その進捗状況、これは国土交通省関係の基準になっていまして、一方では文部科学省基準がありまして、それに対する考え方はどうなのかといった質問、それから非構造部材についての質問がございました。これも教育委員会だけではなくて、一部管財部から答弁をしております。市有建築物耐震化整備プログラムの進捗状況ですけれども、これは管財部から答弁しまして、耐震改修促進法に定められた建物の耐震度を示すI s値が0.6未満のものを対象に、市では先ほど言いました整備プログラムをつくっているのですが、これに基づいて平成25年度末までに100%の耐震化を目指しているといった答弁をしております。教育委員会からは、先ほど言いましたように文部科学省基準では指針が示されておりました、これには耐震改修を必要とする建物はI s値が0.1上がりまして0.7未満とされておりますので、プログラムが終了した段階で文部科学省の基準を満たさない建物があります。その建物は8校12棟であるという答弁をしております。今後の耐震化ですけれども、プログラムをまず優先して、先ほど言いましたように25年度末までを目指して進めていった後、I s値0.6以上0.7未満の建物の耐震改修を進めていく。なお、これは平成27年度末を目指して取り組んでいくといった答弁をしております。非構造部材の耐震化の取り組みにつきましては、学校職員による第1次点検、項目は約3万件ありましたけれども、その中で異状が見られるものが約1,000件でございました。この1次点検の結果を受け、学校の設置者、教育施設課により第2次点検を実施しているということ、今後このデータ整理を早急に行うといった答弁をして

おります。次に、大野公民館のエレベーター関係が2件質問がありました。21番の大場議員と31番の中山議員です。質問の内容は整備計画の進捗状況、利用者への対応でございました。答弁としましては、大野公民館は大柏出張所も併設しております。業務がありますので、通常どおり開所することになりますが、そのため騒音・振動を抑えるなどの工法を採用することから1年かかるという答弁をしています。工事の結果、スロープが建物の中にあリまして、これが一番問題だったのですが、これを撤去してエレベーターと階段、2室の研修室を設置する工事内容です。それから利用者の利用につきましては、代替施設として、旧北消防署大野出張所が今あいている状況になっておりますので、その2室を使う、あるいは大野小学校や宮久保小学校の施設を開放するという答弁をしています。最後に、学力・学習状況調査が1件、堀越議員から質問されていまして、調査の結果と課題、学力の考え方、今後の学力向上策といったところでした。調査の結果については、先ほど議案質疑のところでも申し上げたとおりです。「学力」につきましては、「確かな学力」、「豊かな心」、「健やかな体」をバランスよく身につけた力ととらえているという答弁をしています。今後の学力向上に対しては、指導主事による指導訪問や教職員研修事業を推進するといったことを答弁しております。今ご説明した内容につきましては、資料の中にもう少し詳しく書いてございますので、また後ほど目を通していただければと思います。以上です。

○ 宇田川委員長

ありがとうございました。

○ 内田委員

早期発見のための手立てとして「生活振り返りカード」の作成などを行うという答弁で、「生活振り返りカード」とはどういうものですか。

○ 学校教育部長

このカードにつきましては、各学校でいろいろな呼び方をしているのですが、1日を振り返ってとか1週間を振り返って個人が自己評価をするようなカードを言っております。日常困っていることとか、こんなことができるようになったということなどを書き込むカードを指しております。

○ 内田委員

生徒が書くものですか。

○ 学校教育部長

生徒個々が書き込んで、それを担任が見ていく。気になるものについては学年内とか管理職に報告するというシステムになっております。

○ 中村委員

学力・学習状況調査の件ですけれど、中学校の国語のポイントが前年度より1.7ポイント向上したということですが、具体的にどういうことをしてポイントが上がったのかということはおわっているのでしょうか。

○ 学校教育部長

昨年度実施しました結果を分析しまして、書く力という部分が国語では落ちていることが分析できました。この書く力というのは、文字数を決めて何文字で要点をよくまとめて書くとか、趣旨に合った形で要約するものを指しておりますけれども、そういった力をつけるということで、昨年1年間、各学校でいろいろな国語の研修とかこれに類する研修会等を実施して、子どもたちに指導してきておりました。その結果で少し上昇できたと思っております。

○ 宇田川委員長

次に(2)平成24年度市川市子ども作品展・新聞展について、(3)第67回市川市児童生徒音楽会について、(4)平成24年度合同学習発表会についてを説明してください。

○ 義務教育課長

資料は28ページ、29ページでございます。なお、このことにつきましては指導課の担当事業でございますが、本日、学校訪問のため、指導課長にかわって説明をさせていただきます。初めに、その他の(2)市川市子ども作品展・新聞展についてご説明申し上げます。本事業は、市川市立の幼稚園並びに小・中・特別支援学校の幼児、児童生徒の日ごろの学習成果の発表の場として、昭和25年に開始以来、本年度で63回目の開催となります。開催日時等でございますが、11月7日水曜日から11月11日日曜日までの5日間で、午前9時30分から午後5時まで、市川市文化会館地下展示室並びに大会議室において開催されます。展示作品は図画工作科、美術科、技術家庭科、そして書写の作品並びに学校新聞、学校園の写真などが展示され、毎年2,000点を超える出展がございます。なお、昨年度は5日間で9,572名の方々にご来場いただきました。続きまして、その他の(3)市川市児童生徒音楽会についてご説明申し上げます。本事業は、市川市立小・中・特別支援学校の児童生徒の音楽水準の維持向上を図るとともに、発表会を通して保護者並びに市民にも広く音楽教育に対する理解を深めてもらうことを目的に、昭和21年3月開始以来、本年度で67回目の開催となります。毎年市内の児童生徒約4,000名以上が参加するとともに、保護者を初め市民の方々も1日に約1,000名以上の来場があり、市内の音楽会としては最大規模となっております。なお、かつては部活動中心の発表でございましたが、現在は授業でつくり上げてきたクラス合唱、学年合唱、また器楽演奏が中心となっております。開催日時等でございますが、11月8日木曜日、11月9日金曜日の2日間で、会場は市川市文化会館大ホールにおいて、午前9時20分から午後4時までの予定で開催されます。最後になりますが、その他の(4)平成24年度合同学習発表会についてご説明申し上げます。例年開催しております特別支援学級児童生徒の学習発表会でございますが、本年度は開催に当たり大きく変更した点がございませ

で、ご説明申し上げます。近年、特別支援学級設置校の増加に伴い参加校がふえたことで、発表会の開催に当たっては大変タイトな日程となっております。さらに、人数の多さによる安全面の確保等も課題として挙げられておりました。このことについて協議を続けてきた結果、本年度から市内を南北に分けて開催することといたしました。このことによりさまざまな課題の解消を図ることができるのと同時に、より地域に密着した発表会になるものと考えております。なお、開催日等は、北部地域が11月10日土曜日、市川市市民会館で開催いたします。参加校は14校でございます。また、南部地域は12月1日土曜日、行徳文化ホール I & I で開催いたします。参加校は10校でございます。以上でございます。

○ 宇田川委員長

ありがとうございました。

○ 五十嵐委員委員

学習発表会は予行練習とか事前練習とか両方確保できるのですか。

○ 義務教育課長

月行事を見ますと予定どおり入っていますので、特に今のところそのような問題はないと理解しています。

○ 五十嵐委員委員

とれているということですか。

○ 義務教育課長

はい。

○ 宇田川委員長

次に(5)平成24年度市川市還暦式についてを説明してください。

○ 生涯学習振興課長

議事日程の30ページをお願いいたします。日程ですが、11月4日日曜日、場所が市川市文化会館で開催させていただきます。当日の式典の内容ですが、正午に受け付けを開始しまして、午後1時から式典が開始されます。ごらんの還暦式内容の中身のとおり流していくわけですけれども、オープニングで還暦を迎えた方々が子ども時代とか若かったころの市川市内の写真とか映像を今集めている最中ですが、それをスライドにして上映をさせていただくというのが1つございます。それから、記念講演を毎年実施しておりますが、ことしはフリーアナウンサーの生島ヒロシ氏に「いつまでも若く生きる秘訣」という演題で講演をしていただきます。生涯学習振興課で所管させていただいておりますので、これから生涯学習に取り組んでいただくためにはどういった入り口があるかとか、どういった施設が市内にはあるかという内容で生涯学習のご案内ということでプレゼンをさせていただきます。最後に、去年から採用させていただいているのですけれども、大久保豊典さんという市内在住のテノール歌手の方がいらっしゃって、全員合唱をして締めを

するという流れで式典を実施させていただきます。会場内のホワイエになつかしのコーナーとして、先ほど申し上げた市内の写真や映像をパネルにさせていただいて展示します。情報コーナーについては、今のところエントリーが21団体来ていますけれども、市内のボランティア団体とか趣味や健康に関するサークル、21団体にエントリーいただいて、にぎやかにいろいろな角度からの情報を提供していただくという趣向でございます。仕事で困っている方もいらっしゃるだろうということで、就職コーナーも設けようとは考えているのですけれども、60歳以上の就職口はなかなか難しいようです。課で用意しているのはシルバー人材の方に来ていただいてご案内いただくのと、市役所も年齢は制限しないで人事課で非常勤職員を募集していますので、そういったものをご案内させていただくという予定でございます。それと、教育委員会でやり始めてから取り組んでいる川柳のコーナーで、意外と皆さん申し込みのはがきに川柳を書いて出してくださるので、それをプリントアウトして展示させてもらうという趣向であります。一番下に同日開催とご案内してありますけれども、市川市歯科医師会が主催をして「おくち」のフォーラムを還暦式の日時間に時間がかからないところでやらせてもらいたいという申し入れをいただきまして、中川洋一さんという鶴見大学歯学部の方で、NHKとか朝のワイド番組の中で今、ドライマウスが大分話題になっているようですけれども、「お口の中が乾いていませんか？お口が臭っていませんか？」という中身で講演会をされるということで、ポスターの中にそのことも案内したり、ご案内状の中にも、同日開催でこれがあると案内をしてあります。少しでもたくさんの方にいろいろな動機を持って参加していただけたらということで、今回はそういうふうにさせていただきました。還暦式については以上でございます。

○ 宇田川委員長

次に(6)平成24年度成人式についてを説明してください。

○ 生涯学習振興課長

31ページと裏面をごらんになっていただきたいと思います。行事の名称は、「新成人の集い」となっております。日程が平成25年1月13日、成人の日が今回は1月14日ですけれども、その前日の日曜日、場所は市川市文化会館で実施させていただきます。今年度の新成人の対象者ですが、4,052人で、大体昨年と同様です。式典等の企画運営につきましては、例年どおり二十歳を中心とした実行委員で組織する実行委員会形式をとらせていただいております。自主的な企画運営をできるだけ反映させるように配慮しているということです。この実行委員については、5月19日号の「広報いちかわ」で募集をかけまして、男女合わせて二十歳が7名、19歳が5名の合計12名の応募がございまして、面接を経て全員実行委員として採用させていただいています。6月に第1回の実行委員会を開きまして、9月末まででもう既に5回の

会議を実施しております。決定した催事ですけれども、まず大ホールでの式典のオープニングです。去年、おとしは子どもたちのチアリーディングを採用していたのですけれども、今年についてはバトントワリングの団体を実行委員で知っている子がいて、すごくいいということで、ユニバーサルバトンという団体だそうです。そのユニバーサルバトンのバトントワリングで式典を開始しようということです。また、ここ何年か実施して非常に好評をいただいておりますサプライズ企画ですけれども、今年度も芸能人による音楽公演を実施いたします。ゲストにつきましては、現在最終的な調整に入っておりますが、今のところはまだ秘密ということで、皆さんがご存じかどうかはわかりませんが、私も知っている人でした。次に、大ホール以外の催事ですけれども、成人式恒例であります新成人の小中学校当時の懐かしい先生からのビデオレターコーナーです。これは実行委員全員一致で、ビデオで自分が小学校6年生のとき、中学校3年生のときにお世話になった先生の顔を見たりお声を聞いたりするコーナーをぜひ設けたいということで、1カ月ぐらいかかりましたけれども、課の職員が各学校を回って、公立、私立合わせて180人の先生方のビデオ撮りが終わっております。また、4階での茶席体験コーナーと着物の着付け直しコーナーを毎年置かせていただいておりますけれども、これもぜひお願いしたいということで、実行委員からの意見をいただいております。最近見ていると、女性だけではなくて男性も和服の子が多くなってきて、本当に着くずれてしまうのですね。着物の着付け直しコーナーに男の子がたくさん来て直してもらっている風景が見られます。その他ですけれども、新成人への記念品で、これまでボールペンとか万年筆とかいろいろなものを記念品として選んできましたけれども、今回、実行委員はおもしろいものを挙げてくれて、シリコンスチーマーという、私はこれは知りませんでしたけれども、電子レンジの中に食材を入れるときにくるんで加熱すると、それで温まるものだそうです。実行委員に女子の委員が結構多いので、その傾向もあったか、ただ、一緒にいる男性の実行委員も、それいいねということで、記念品でもらって、あとほっておくのではなくて、使えるものがあるのではないかという実行委員の意見で、それに決定しております。成人式のテーマを毎年決めておりますが、「挑戦 ～市川（ここ）から始まる～」というテーマを彼らは考えました。これは二十歳を迎えて、大人への第一歩の踏み出しが新たなチャレンジのスタートであること、それぞれが今後の人生の中で挑戦していく何かを自分たちが住むこの市川から見つけようとする意思が感じられるものであると考えられます。また、例年実施しております実行委員による記念企画も、現在どういった形でテーマに沿った内容にするかということで検討をしているところです。実行委員会全部で大体10回、毎年やるのですけれども、半分終了しまして折り返しに来ております。新成人に毎年終わった後、アンケートをしているのですけれども、

非常に思い出に残るいい成人式だったという回答をこの数年いただいておりますので、まだ現在進行形の段階ではありますけれども、残りの時間について、実行委員ともどもできる限りの準備をしていきたいと考えております。以上でございます。

○ 宇田川委員長

ありがとうございました。本日の議事は以上でございますが、皆様から何かございますか。

○ 地域教育課長

9月の定例教育委員会で五十嵐委員よりご質問がありました少年相談につきまして、改めましてご報告させていただきます。お手元のA4の1枚裏表の資料に基づきましてご説明させていただきます。まず、少年センターの相談事業概要でございますが、電話相談は昭和58年4月1日より開設し、メールによる相談につきましては平成12年6月より開始いたしました。対象者は学校や職場、日常生活の中で何らかの悩みのある少年で、6歳から20歳未満までの児童生徒、有職・無職少年とその保護者等を対象としております。受け付けは土日、祝日を除く月曜から金曜日の午前9時から午後5時までで、木曜日のみ電話相談を午後7時まで受け付けております。相談形態につきましては、電話相談、メール相談、面接相談でございます。相談員数は、専門の相談員4名が輪番制で常時2人体制で対応しております。2番目の相談内容並びに件数につきましては、過去3カ年の上位4位までを表記してございます。括弧内の数値は全体の件数に対する構成比となっております。この3カ年の相談の傾向ですが、電話相談は子ども本人からよりも保護者からの相談が圧倒的に多く、全体の約80%を占めております。例年「家庭生活」に関する相談が常に上位で、以下、「学校生活」、「健康」、「交友」、「進路」、「不登校」が年度ごとによって件数の前後はございますが、上位を占めております。また、上位の相談件数でありました「不登校」の相談は、平成21年度より減少しまして、それにかわりまして「健康」に関する相談が急増しております。これは定かではございませんが、東日本大震災の影響等もありまして、子どもの寝つきの悪さ等で疲労感とか焦燥感の相談がふえたと思われれます。次に、平成23年度の相談状況ですが、保護者からの相談が主であるため、話の入り口で、子どもが「学校へ行きたくない」、「いじめられている」、「不登校」、「反抗的な態度」、「暴言や暴力」、「万引きや家のお金の持ち出し」、「性への極端な興味」など目に見える子どもの問題行動に対しまして、親としての対応不能な状況が語られております。次に、相談が最も多い「家庭生活」、23年度では1,155件、2位の「健康」407件の主な内容につきましては記載のとおりでございます。次に、五十嵐委員のご質問がありました「学校生活」167件における相談者の内訳といたしましては、小学生4件、中学生65件、高校生12件、保護者81件、その他成人（祖父母）5件となっております。主

な内容といたしましては、「友人ができない」、「学校がつまらない」、「受験勉強に疲れた」、「体調不良や気持ちの苦しさとで登校できない」、「部活動のこと」、「友人とのトラブル」、保護者や子どもからの「教員への不信感」などがございます。さらに、これらの相談を進めていきますと、学校や家庭内での意思疎通が不十分で、問題に関連する人々の対人関係が良好に形成されていない状況が判明しております。また、保護者自身の生育歴での心の傷つき、生活ストレス、社会での孤立感、子どもに対する観察や声かけの不適切さ、子どものコミュニケーションスキルの未発達などが認められることが多いです。次に、3番といたしまして関係機関との連携ですが、ほとんどの相談が少年センターでの相談により、相談者は解決の糸口に気づきまして解決に結びついております。関係機関への紹介ですが、家庭の問題、虐待を懸念される内容につきましては、千葉縣市川児童相談所を紹介してございます。23年度は2件ございました。発達遅滞などの内容については、市川市教育センターへ紹介が3件ございました。また、16歳以上の子どもの場合は、千葉県総合教育センター特別支援教育部へ紹介が2件ございました。未就学の幼児、6歳未満に関する相談につきましては、市の子育て支援課に3件紹介いたしました。4番その他といたしまして、相談内容の保存、または処理方法ですが、電話相談、メール相談、面接相談とも相談記録はすべて紙媒体で記録保存してございます。常に相談員同士が情報を共有できるようにしてございます。また、相談記録は市川市文書管理規程並びに市川市情報セキュリティに関する規程に基づきまして厳重に管理保管しております。以上でございます。

○ 宇田川委員長

ありがとうございました。

○ 五十嵐委員

すごく重い問題も親切に対応してくださって解決しているというのがわかりました。ありがとうございます。

○ 宇田川委員長

他に何かございますか。

○ 他の委員

ございません。

○ 宇田川委員長

それでは、これもちまして平成24年10月定例教育委員会を閉会いたします。

(午後3時55分閉会)

署名委員

委員長

宇田川 進

委員

五十嵐 芙美子

委員

中村 ふじ江